

篠崎将 里山ある記 増尾の森

平成24年8月、柏市は「増尾の森 生物多様性活用方針」を策定し、管理活用方法を検討してきましたが、平成27年6月、市民団体である仮称「増尾の森と水辺の会」を発足させました。現在この団体が生態系調査やホタル観察会を行っています。

中原小学校下のこの地域は、山林と湧水と湿地から構成されていて、豊かな生態系になっています。樹木ではクヌギ、コナラ、シラカシ、サワラ、トウカエデ、マユミ、ウグイスカズラ、コブシ、イヌシデなどをはじめ、低木のヤブコウジ、マンリョウが多く、野草では、キンラン(千葉県一般保護種=D)、ギンラン(千葉県要保護種=C)、ササバギンラン(C)、イヌアワ(D)、キツネノカミソリなどが観察できます。キツネノカミソリはヒガンバナ科で、8月半ばには葉が枯れ、その後に長さ35~45cmの赤褐色の質の柔らかい花茎を伸ばし、先端の包葉の中から長さ5~7cmの小花柄を出して、黄褐色の花が咲きます。種子は球形で有毒です。

湧水の流れの中には、モノアラガイ、ヒメタニシが生息していますが、人工的に放流しているヘイケボタルの幼虫のえさとなっています。

トンボ類ではシオカラトンボのほか、ナツアカネ、アキアカネ、マイコアカネ、ウスバキトンボ、クロスジギンヤンマ(D)、オニヤンマが観察できます。夏の間、林の中では、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシの合唱が聞こえますが、最近ではクマゼミの声が増えるようになりました。クマゼミは伊豆半島が生息の北限ですが、最近では温暖化の影響で柏まで来ているようです。

その他草原では、蝶類やバッタ類も多く見かけ、森は、夜になると鳥たちのねぐらになります。



キツネノカミソリ

地区社協部ボランティアグループ 増尾ジェンヌの会のお知らせ

アロマテラピー講座「ハーブの石けん作り」を、7月22日に増尾近隣センターで開催し、40代から70代の女性18名の参加を得ました。講師のAEAJアロマセラピスト、館野久美先生よりハーブについて学び、石けん作りにチャレンジ。石けんの生地にハーブティーを混ぜ、アロマの精油と蜂蜜を加えてよくこね、好みの型に押し固めて成型すれば完成です。こねる作業は皆さん楽しそうでした。

「増尾ジェンヌの会」は、増尾ふる協主催アロマ講座の受講生有志で発足した、地区社協部所属のボランティア団体です。現在14名の会員が館野先生の指導を受けて活動しています。一人でも多くの方に、心身のリフレッシュを体感していただくため、アロマテラピー講座やハンドトリートメント体験のサロンを開催したり、2か所の高齢者施設でボランティアを行ったりしています。今回の講座は10月7日「物忘れ予防にアロマの香りを...」、10月31日、12月16日、H28年2月24日にはハンドトリートメントの体験会を開催する予定です。

講座、体験会ともに詳細は回覧等でお知らせしますので、ぜひご参加下さい。
お問い合わせ 吉川 (TEL 7176-3631)

ふる協からのお知らせ

- 10月24日 救急救命講習会
 - 10月31日 地域ふれあいのつどい
 - 10月31日~11月1日 文化祭
 - 10月31日~11月1日 環境フェア2015パネル展
 - 11月15日 グラウンドゴルフ大会
 - 11月22日 増尾地域災害訓練
 - 12月6日 つくってあそびPart3
 - 12月27日 年末夜間パトロール
- ※詳細は回覧、チラシ等でお知らせします。

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。
地区社協部 吉川(TEL 7176-3631)まで、お問い合わせください。



吉田 稔 筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成27年 10月 No.115

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211
http://masuo80@live.jp

いざという時に備えて 増尾地域災害訓練 11月22日

防犯防災部

増尾地域ふるさと協議会(増尾ふる協)では、11月22日(日曜)に、17町・自治会合同の「増尾地域災害訓練」を実施します。増尾近隣センターに地区災害対策本部を立ち上げ、柏南高等学校、土中学校、土小学校、増尾西小学校の4か所に避難所を開設し、町・自治会は指定の避難所に参集します。この訓練は、町・自治会と対策本部、避難所と対策本部の情報の伝達を図り、すみやかに避難所の開設と運営ができるようにすることに重点を置き、実施します。

現在ふる協では、避難所の開設運営組織の確立および活動を推進しています。学校と町・自治会の自主防災会が連携して、避難所の開設や運営のマニュアルなどを整

備し、各町・自治会が担う総務班、情報班、食料物資班、保健衛生班などの役割分担などを決めていきます。これらすべての役割は、避難所に集まった住民が協力して行います。

すでに、避難所となる土中学校、土小学校、増尾西小学校においては組織が結成され、マニュアル、役割分担の取り決め、体育館内の町・自治会別の区割りなどの会議を重ねています。

いざという時に、避難所での生活を混乱なく安心して過ごすには、住民の皆さんの助け合いが必要です。後日、町・自治会より開催の案内がありますので、ご協力をお願いいたします。
防犯防災部 志水 房夫



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

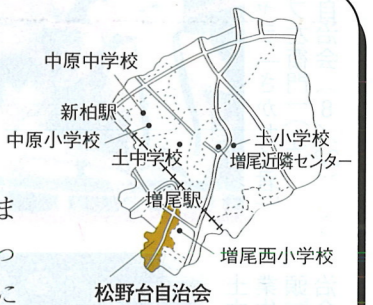
松野台自治会

増尾駅から南東に位置している当自治会は、住居表示変更により、町名が「中原」「酒井根」から「増尾台」に統一されました。自治会名の「松野台」は、町名が決まる前に、地域一帯に松の木が多く自生していることから命名されました。

年間の行事では、夏祭りを最も重要視し、一丸となって取り組んでいます。子供会では、やぐらの上で披露する太鼓の練習を連日行いました。お年寄りの会「緑寿会」では、やぐら周りを紙の花で飾り、色鮮やかに演出。踊りの稽古にも熱心に取り組み、

当日は中心となって踊りました。そんな心意気もあって、今年の夏祭りは格別盛大でした。踊りの輪が二重三重の大きな輪となりました。こうした夏祭りを通じて人と人の支え合う心が、まさに「向こう三軒両隣」を進めています。

また、平成25年に自主防災会を発足、住民参加の防災意識の啓発活動をはじめとして、高齢者と独居の人達の状況把握、非常時の連絡先に関する整備に取り組んでいます。
会長 神田 甫



「サロンつちのこ」 1周年記念こどもまつり開催

第2拠点開設を検討中

子ども達が、てるてる坊主を作り晴天になることを、祈ってくれたおかげで、前日の大雨がうそのように晴れ渡った6月20日「1周年記念こどもまつり」を土小学校で開催しました。体育館では、人形劇を鑑賞、割りばし鉄砲、輪投げ、吹き矢、布ぞうり作り、手芸、折り紙、今後講座で行う予定のミニテニス的一种のパンポンなど、遊びの場が設けられました。校庭では、地域の方々と障がい者団体の協力で模擬店が出店し、フランクフルト、焼き鳥、マドレーヌ、チーズドッグ、ポップコーン、綿あめ、カレー、花苗などが販売され、長い行列が出来ました。遊びコーナーでは、竹とんぼ、竹筒水鉄砲、しの竹鉄砲、缶ぽっくり、シャボン玉遊びが繰り広げられ、

青空の下に歓声が……。他にも餅つき体験、スタンプラリーなどが行われました。

「サロンつちのこ」は子ども達がボランティアの方とさまざまな遊びを通じてコミュニケーションを図り、地域の子どもの見守り育てる場所です。土曜日に土小学校で開室していますが、土小学校以外の生徒には、場所が遠いことなどから参加が難しいようです。こうした問題の解決にと、増尾西小学校を第2拠点の候補として検討中です。運営にご協力いただける方を募集しています。ぜひ手を挙げてください。

地区社協部 大江 幹



劇団「おはなしおはなしレグチヨキバー」の演技始まり



長ぐつ公園が大勢の子どもでにぎわいました
松野台自治会(7/18・19)



式典を終え、いざ宮出し
廣幡八幡宮神輿渡御
(7/26)

ゆるキャラ「さかサイ君」と「カブ左衛門」(左)
南ヶ丘自治会(8/22)



子どもが主役 増尾の夏祭り

うだるような暑さが続いた今年の夏。増尾の夏祭りも“あつく、あつく”開催されました。



広い増尾幼稚園庭に三重の踊りの輪ができました
増尾町会(8/22・23)

土中プラスバンドの演奏で、卒業生の高源麗美さんが「増尾音頭」を熱唱 第一住宅増尾団地自治会(8/8・9)



猛暑の中、子ども達はがんばりました
加賀町会(8/1・2)



色とりどりにトッピング 地区社協部料理教室



8月2日、増尾近隣センターの料理実習室で「ふたりでクッキング」を開催しました。夏休み恒例の事業として、小学生とその保護者対象の料理教室です。今年は8組の親子が参加しました。

次は何を乗せようかなあ

今回のメニューは、手ごねミックスピザ、野菜スープ、黄桃缶のヨーグルトゼリーです。エプロンを身につけ、手を洗い、準備万端でクッキングのスタートです。スープ作りは、ピーラーや包丁を使って野菜の皮むきに挑戦。手ごねピザでは、親子で生地をこね、発酵後伸ばして、色とりどりにトッピングをしました。焼き上がったピザは、どの親子もよい出来映えでした。

地区社協部 田嶋 典子

文化体育部主催 ちびっこ体操教室開催

6月27日、増尾近隣センター体育室において、石原由紀子先生指導のちびっこ体操教室を開催。小雨が降る中にもかかわらず、元気なちびっこ26名、保護者26名が集まりました。ケンケンパー、平均台、綱くぐり、段ボールキャタピラー、段ボールトンネルなどを使い、ピョンピョン跳ねたりくぐったり、みんな大汗をかいて体育室の中を走り回りました。

スナップ写真、おみやげ、スタンプカードを差し上げ、終了しました。

文化体育部 小林 みつえ



青、赤、黄。誰が一番かな？

増尾近隣センター主催 「ニュースポーツで 楽しもう」

8月4日、昨年に引き続き夏休みのイベントとして子どもを対象とした「ニュースポーツで楽しもう」を増尾近隣センター体育室で実施しました。

この日は35度を超える猛暑日で、参加者がいないのではと不安でしたが、親子を含め10名程の参加がありました。

蒸し暑い体育室でしたが、柏市スポーツ推進委員協議会南部支部の方々の指導で、カーリングそっくりの「カロリング」や大きな柔らかいゴムボールでドッジボールをする「ふわどっち」など、普段目にする事のないおもしろい競技で、楽しく遊びました。

増尾近隣センター所長 畔上 善昭



「ヤッター」輪投げって楽しいね

雨また雨で再延期 ホタル見学会

文化体育部

当初予定していた7月6日のホタル見学会が雨で中止。8日に再度計画しましたが、また雨。参加予定の皆さんへの連絡の声も暗くなりました。

しかし、環境政策課、ホタルの会の方々の協力をいただき、7月14日、3度目にして開催ができました。日程変更にもかかわらず53名が参加。しかも当日は風が強く、こんな日にホタルは姿を見せてくれるのかと心配でしたが、うれしいことにたくさんのホタルが迎えてくれました。足元や2~3m先の闇に舞う姿を見ることができ、皆さん感激でした。今年は特に若い家族の方が多く参加しており、親子でホタルを鑑賞していただけてよかったです。今年もたくさん見ることができました。

文化体育部 小林 みつえ